

令和 3 年 5 月 17 日
大臣官房技術調査課
国土技術政策総合研究所

デジタルツインの実現に向けて連携を拡充

～国土交通データプラットフォーム上で BIM/CIM と 3 次元点群データの表示・検索・ダウンロードが新たに可能に～

国土交通データプラットフォーム上で、直轄工事について、新たに平成 30 年度発注工事の BIM/CIM データ 10 件と 3 次元点群データ約 570 件について、表示・検索・ダウンロードすることが可能となりました。

また、地方公共団体工事について、新たに約 200 件の電子納品データ（My City Construction のデータ）と連携し、表示・検索・ダウンロード※することが可能となりました。 ※ダウンロードについては、30 件のデータで可能

その他、各種データの拡充を行っております。

【国土交通データプラットフォームの概要】

- 国土交通省と民間等のデータによるデジタルツインの実現を目指す
- 3 次元データ視覚化機能、データハブ機能、情報発信機能を有するプラットフォームの構築
- API を活用することでデータを最新の状態で提供
- 業務の効率化やスマートシティの推進、産学官連携によるイノベーション創出
※利活用イメージとして、民間企業より提案いただいたものを併せて公表します
※API：サービスの機能やデータ等を他のサービス等から呼び出して利用するための接続仕様

【今回の追加・更新データ】

【① 直轄工事のデータ】

- ・ BIM/CIM データ（10 件）、3 次元点群データ（約 570 件）等（電子納品保管管理システム）【更新】

【② 地方公共団体工事のデータ】

- ・ 電子納品データ（My City Construction）（約 200 件）【追加】

【③ その他のデータ】

- ・ 鉛直積算雨量等（情報通信研究機構・防災科学技術研究所→SIP4D 経由）【追加】
- ・ 災害情報（統合災害情報システム（DiMAPS））【追加】 ※
- ・ 雨量観測所、水位流量観測所位置データ（水文水質データベース）【追加】 ※
- ・ インフラ維持管理データ（社会資本情報プラットフォーム）【更新】
- ・ 気象観測データ降水量の日合計等（気象データ）【更新】

※サンプルデータを用いて API 連携を試行

【情報発信機能の更新】

産学官によるデータモデルやデータを活用した事例として、2例新たにショーケースとして表示した。

- ・ 3次元点群データと台帳データとの連携モデル
- ・ デジタル道路地図データベース (DRM-DB)

国土交通データプラットフォーム
<https://www.mlit-data.jp/platform>



問い合わせ先

(取組全般について)

国土交通省 大臣官房 技術調査課

課長補佐 中西 健一郎 (内線 22339)、係長 松葉 俊哉 (内線 22326)

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8219 FAX：03-5253-1536

(国土交通データプラットフォームのシステムについて)

国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室

主任研究官 中村 英佑 (内線 3847)

代表：029-864-2211 直通：029-864-8209 FAX：029-864-2214